

# ときめく

【時めく】 勳力四

- ① 時流に乗って栄える
- ② 寵愛を受ける



① 栄え、愛され「ときめく」  
現代語では「期待で胸がドキドキする」の意味であるが、古語では、その時に、よい境遇に恵まれ栄えることを言う。①は「地位や権力に恵まれること」を表す。②は「主人や権力者から目をかけられること」を表す。妃が帝から寵愛を受けるといった場合に多く使われる。

類 244 ときにあふ  
類 ときめかす  
「寵愛する」

例文

① 世の中にとときめき給ふ雲客、桂より遊びて帰り給ふが、(著聞)  
② 世間で時流に乗って栄えなさっている殿上人で、桂から遊んでお帰りの方、  
③ いとやむことなき際にはあらぬが、すぐれてときめきたまふありけり。(源氏)  
④ それほど高貴な身分ではない方で、とりわけ「帝の」寵愛を受けなさっている方がいた。

# めづ

【愛づ・賞づ】 勳力下二

- ① 心が引かれる・感動する
- ② ほめる・かわいがる



① 「心が引かれ」「ほめる」こと

漢字では「愛づ・賞づ」と書き、対象に心が引かれて感動したり、自然とほめたり愛したりするさまを表す。直前にくる助詞がポイントで、「く」にめづなら①、「を」めづなら②の意味となると覚えておこう。

派 118 めでたし  
派 めづらし  
素晴らしい

例文

① みな人のその香にめづるふぢばかま(大和)  
② 誰もがその香りに心が引かれる藤袴

# かしづく

【傳く】 勳力四

- ① 大切に育てる・大切に世話をする



① 娘を大切に育てる

現代語の「かしづく」は「目上の人に仕える」という意味だが、古くは、「地位の高い人物が弱い者を大切にし、世話をする」という意味で使われた。古文では、父親が娘を大切に育てる、または大切に扱い後見人となる、という文脈で使われることが多い。

類 270 いづく  
類 はぐくむ  
「養い育てる・世話をする」

例文

① 長者の家にかしづく女のありけるに、(宇治)  
② 長者の家に大切に育てる娘がいたのだが、